



(参考仮訳)

プレスリリース No. 10/314

即時解禁

2010年8月18日

国際通貨基金 (IMF)  
米国 ワシントン DC

**IMF・ILO オスロ会議、  
多くの雇用を創出する、世界経済の回復の加速化に向けた方策に取り組む**

国際通貨基金 (IMF) 及び国際労働機関 (ILO) は、2010年9月13日オスロにて、ノルウェーのイェンス・ストルテンベルグ首相主催で合同会議を開催すると発表した。同会議は、持続的且つ多くの雇用機会を創出する、世界経済危機からの回復を実現するための新たな方策を探るものとなる。

ノルウェー政府が主催し、ドミニク・ストロスカーン IMF 専務理事及びフアン・ソマビア ILO 事務局長が議長を務める同会議は、「成長、雇用、社会的結束の課題」を取り上げる初の会議であり、リベリアのエレン・ジョンソン＝サーリーフ大統領、ギリシャのヨルゴス・パパンドレウ首相、スペインのホセ・ルイス・ロドリゲス・サパテロ首相、フランスのクリスティーヌ・ラガルド財務相、英国のイアン・ダンカン・スミス雇用相、及び国際労働組合総連合のシャラン・バロウ書記長など、ハイレベルの参加者が予定されている。

ノルウェーのイェンス・ストルテンベルグ首相は、「9月13日に、世界の指導者や政府・学術機関の代表をオスロに迎え、現在問題になっている失業について議論を行なう機会を心待ちにしている。我々には、多くの雇用を創出する持続的回復を確保するための、適切な政策が必要だ。オスロ会議は、主要な政策当局者や専門家が、金融危機の影響を受けた何百万という人々の生活の質や雇用を改善する方策を検証する場となる」と述べた。

同会議の開催の背景には、2008年の金融危機に端を発した「グレート・リセッション (大規模景気後退局面)」を受け、世界的に雇用情勢の見通しが依然として悪化していることがあげられる。ILOの推定によると、2010年の世界の失業者数は約2億1,000万人に達するが、これは2007年の危機直前と比較すると3,400万人の増加となっている。

IMF と ILO は、各国政府、労働或いは民間部門の上級クラスのリーダーや著名な学識経験者らを参加者として迎え、急増する失業への当面の対応策、並びに持続的な成長及び発展を促進するための措置について話し合う。IMF 及び ILO が各々寄稿し、同会議の多くの議題を取り上げた会議のラウンドテーブル用の討議資料は、会議に先立ちレビュー又はオンライン討論用として入手可能となる予定である。

同会議は、多様な講演者及び参加者が一堂に会し、全地域に関係する失業問題への世界的な解決策を明確にしようとするものである。

### 報道関係各位:

同会議の詳細は、[www.osloconference2010.org](http://www.osloconference2010.org) を参照ください。

同会議の取材を希望するジャーナリストは、[www.government.no/osloconference2010](http://www.government.no/osloconference2010) にアクセスし登録を行い、情報を入手してください。

同会議の特徴といえるインタラクティブ・オンライン・フォーラムが、8月27日に[www.osloconference2010forum.org](http://www.osloconference2010forum.org) でライブ中継されます。ラウンドテーブル向け資料を基に協議を行う同フォーラムの詳細については、同会議ウェブサイトを参照ください。

同会議の完全ビデオ放送並びに記者会見の様子は、同会議のウェブサイトより入手可能となる予定です。